

令和2年度 市民病院事務部の「実行宣言」

作成者 (評価者)	市民病院事務部長	武田 裕樹
--------------	----------	-------

組織の概要（主な業務）	
<p>昭和21年9月に健康保険松阪市民病院として開設。現在は、急性期病床269床（感染症病床2床）、緩和ケア病床20床、地域包括ケア病床39床の計328床の総合病院です。</p> <p>市内の2基幹病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院）と連携・協力しながら松阪地域の二次救急医療（入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療）の一翼を担うとともに、災害拠点病院、感染症指定医療機関、地域医療支援病院等として地域の皆様に信頼される質の高い医療サービスの提供に努めています。</p>	

1. 令和元年度「実行宣言」の評価

評価基準…S（100%以上）、A（90~99%）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）

市民病院事務部	健全な病院経営に取り組み、黒字経営をめざします。	評価	S
---------	---------------------------------	----	----------

【評価理由と今後の方針】

外来延患者数が前年度より減少したものの、入院延患者数は増加しました。

経営状況については、入院延患者数の増加や入院・外来診療単価の向上により純利益が確保できる見込みとなり、11年連続での黒字経営となる見込みです。

今後も健全な病院経営に職員一丸となって取り組んでいきます。

市民病院事務部	接遇や手話研修の実施、さらには患者さまアンケート等を通して患者満足度の向上に努めます。	評価	S
---------	--	----	----------

【評価理由と今後の方針】

外来・入院患者に対するアンケート調査を実施した結果、満足度（満足・やや満足）は、96.1%であり、前年度より2ポイント上昇しました。

今後も引き続き、意見箱の設置やアンケート調査等を実施し、患者様に安心して診療を受けていただけるよう職員一丸となって取り組んでいきます。



2. 令和2年度 「実行宣言」

松阪市民病院	健全な病院経営に取り組み、黒字経営を目指します。
松阪市民病院	感染症病床を有する指定医療機関として、感染症医療の中心的な役割を果たします。
松阪市民病院	松阪市民病院のあり方について一定の方向性を定めます。

【部局長シート】

3. 『松阪市総合計画』関係施策の進捗度

評価基準…S (100%以上)、A (90~99%)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

施策番号		施策名			
2 - ③		救急医療体制の確保			
関係施策1	指標名	医療施設、救急医療が整っていると感じる市民の割合			
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価
	目標	-	30.0 %	B	2.8 %
	実績	27.2 %	24.6 %		-2.6 %
	評価指標①	進捗度の評価			
	本市の二次救急医療については、休日・夜間は3基幹病院が輪番体制を構築しています。平日・日勤帯は、3基幹病院を中心に受入体制を強化しているところです。今後は、診療科の充実、医療機器の更新等に取り組み、より質の高い医療の提供に努めます。				
	指標名	患者アンケートで「満足」と答えた患者の割合			
	年度	平成27年度	令和元年度目標に対する評価		4年間の増減・進捗評価
	目標	-	95.0 %	S	1.2 %
	実績	93.8 %	96.1 %		2.3 %
評価指標②	進捗度の評価				
患者様からのご意見等については、患者及びその家族等に対しサービスの向上を図るため、院内で組織する患者サービス委員会（院長、副院長、及び各診療部からの代表者で構成）を月1回開催・審議しています。また、職員を対象とした接遇研修等を実施しており、これらの取り組みの成果によるものと理解しています。					

【課長シート】

組織名	市民病院事務部	作成者（評価者）	部長 武田 裕樹
関係する 「実行宣言」	令和元年度	健全な病院経営に取り組み、黒字経営を目指します。	
		接遇や手話研修の実施、さらには患者さまアンケート等を通して患者満足度の向上に努めます。	
	令和2年度	健全な病院経営に取り組み、黒字経営を目指します。	
		感染症病床を有する指定医療機関として、感染症医療の中心的な役割を果たします。 松阪市民病院のあり方について一定の方向性を定めます。	
関係する『総合計画』施策	2-③ 救急医療体制の確保		
組織の概要（主な業務）			
<p>昭和21年9月に健康保険松阪市民病院として開設。現在は、急性期病床269床（感染症病床2床）、緩和ケア病床20床、地域包括ケア病床39床の計328床の総合病院です。</p> <p>市内の2基幹病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院）と連携・協力しながら松阪地域の二次救急医療（入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療）の一翼を担うとともに、災害拠点病院、感染症指定医療機関、地域医療支援病院等として地域の皆様に信頼される質の高い医療サービスの提供に努めています。</p>			

令和元年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【達成できたこと】

- ・入院患者数の増加や外来・入院診療単価の向上により11年連続の黒字経営となる見込みです。
- ・患者満足度アンケートの結果、前年度を上回る結果（満足度96.1%）が得られました。
- ・令和2年2月13日、設置から約1年半に及んだ「第2次地域医療構想をふまえた松阪市民病院のあり方検討委員会」から市長に対し提言書が提出されました。

【達成できなかったこと・改善すべき点】

- ・11年連続の黒字経営となる見込みであるものの、年々外来延患者数は減少しています。人口減少等による影響もあると考えられますが、救急患者の積極的な受け入れや開業医との連携を強化し、患者の確保に努めていきます。

令和2年度 of 取組・目標について（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）

【重点取組と目標】

- ・救急患者の積極的な受け入れや開業医との連携強化に努めます。
- ・患者様に安全。安心な質の高い医療を提供できる病院をめざします。
- ・感染症病床を有する指定医療機関として感染症医療の中心的な役割を果たします。
- ・「第2次地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方検討委員会」から提出された提言書に基づいた取り組みを行うなかで、松阪市民病院のあり方について一定の方向性を定めます。

【市民病院事務局】 事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	令和元年度				令和2年度					
				当初予算（千円）	最終予算（千円）	活動指標			方針	当初予算（千円）	活動指標		
1	松阪市民病院事業会計繰出金	一般	2-③	874,351	874,351	基準内繰出しの割合			継続	898,148	基準内繰出しの割合		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						100.0%	100.0%	S			100.0%		
2	IT推進事業	企業	2-③	80,859	80,916	予定案件執行率			継続	154,173	予定案件執行率		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						100.0%	100.0%	S			100.0%		
3	医療機器更新事業	企業	2-③	633,515	633,515	予定案件執行率			継続	196,221	予定案件執行率		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						100.0%	100.0%	S			100.0%		
4	建設附帯施設整備事業	企業	2-③	20,000	20,000	予定案件執行率			継続	141,329	予定案件執行率		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						100.0%	90%	A			100.0%		
5	その他市民病院事業会計全事業費	企業	2-③	5,332,610	6,083,612	医業収支比率			継続	6,213,480	医業収支比率		
						目標	実績	評価			目標	実績	評価
						101.0%	101.0%	S			101.0%		